

V F - 1 S スーパーバトロイド

(超時空要塞マクロス)

海洋堂 NONスケールアクションフィギュア
製作・文：政府開発援助

1. V F - 1 S スーパーバルキリーについて

V F - 1 「バルキリー」シリーズは、統合軍全領域戦闘機である。その最大の特徴は、本来の飛行形態だけでなく、バトロイドと呼称される人型形態及びガウオークと呼称される中間形態の3つの形態で戦闘が可能なことである。これは1999年に地球に落下した異星人の巨大宇宙船(後の「マクロス」の原型)を調査した結果、異星人が推定身長10m前後の巨人であることが推定された為、彼らとの格闘戦を想定した仕様と云われている。バルキリーには指揮官用のS型・小隊指揮用のJ型・一般兵用のA型といった、頭部の異なる数タイプがあり、訓練用の複座型であるD型をはじめとする派生型も存在する。

大気圏外の使用に限定し、バルキリーの脆弱な機体をカバーし行動時間(航続距離)の拡大を図ったものがスーパーバルキリーである。これは「スーパーパック」と呼称される増加パーツがバルキリーの背部・腕部・脚部に追加されたもので、余剰スペースを利用してプロペラントタンクやマイクロミサイルポッドが備えられている。また、スーパーパックを排除することなく3形態に自由に変形可能である。

2. フィギュアについて

海洋堂の塗装済完成品アクションフィギュア「リボルテック」シリーズのひとつで、2010年頃発売されました。バトロイド形態の可動モデルで変形はしません(変形する商品が別途存在)。スーパーパックは着脱できます。頭部と塗装、指揮官用ビームキャノンパックの変更で多くのバリエーションを再現していますが、スーパーパックは全て劇場版準拠の形状で、指も劇場版の角ばったタイプです。

3. 製作と塗装について

リボルテックのロイ・フォッカー専用機です。今回はバルキリー本体には一切手を加えず、スーパーパックと手首の形状をテレビ版に変更することに注力しました。背部ビームキャノンを使用せず型取り複製したマイクロミサイルポッドに交換、腕部は元パーツを芯に左右から0.5mmプラ板を貼り付けて形状を修正、脚部はバーニアノズルの切除等を行いました。今日世の中に存在するスーパーバルキリーの立体の殆どが劇場版の形状を再現していることから、劇場版以前に発売された旧イマイのスーパーバルキリーのプラモデルを参考にしています。手首はバンダイの次元ビルドナックル(丸)をベースに、右武器持ち手・左平手・左拳のみ新造して交換しました。主翼が展開できることから反応弾を搭載することにしましたが、腕と干渉する為一回り小さなものを5mmプラパイプを削って作り、おゆまるで複製してエポキシパテで量産しました。先端とノズルにはコトブキヤのプラパーツを使用し、パイロンはエバーグリーンのH型のプラ材から切り出しました。主翼下の武装取付穴が浅くてきちんとマウントできない為、割り切った木工用ボンドで取り付けています(外す際はボンドごと取る)。

塗装について。バルキリー本体はタミヤのスマ入れ塗料各色を使い分けてスマ入れしたのみ、新造した手首と反応弾はベースホワイトの缶スプレーを吹いた後スマ入れし、スーパーパックはクレオスのMSディーブグリーンを筆塗り。背部ブースターの統合軍マークは、白い部分のみ1/72可変バルキリーの主翼用のものから切り出して使用しています。デカール保護の為、スーパーパックに缶スプレーのつや消しクリアを吹きました。



前面

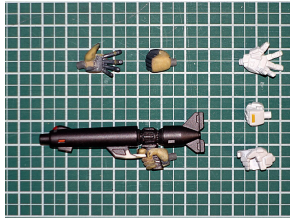


背面

4. 製作過程



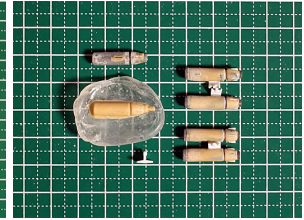
材質は硬質塩ビ？主翼が開閉可能。



丸指の手首を自作し、ガンポッドのグリップ形状に合わせて調整。



スーパーパックはTV版の形状に変更。



反応弾は原型を複製した後ディテールを追加。